

セクション 1: 物質／混合物および会社情報

1.1. 製品特定名

製品形態 : 混合物
製品名 : CF-4721
別名 : 熱硬化性シリコン樹脂

1.2. 主な識別済みの物質または混合物の用途、および不適切な用途

物質／混合物の用途 : 電気部品・電子部品の被覆用。業務用のみ

1.3. 安全データシートの作成者に関する詳細

NuSil Technology LLC
1050 Cindy Lane
Carpinteria, California 93013
USA
(805) 684-8780
regcomp@nusil.com
www.nusil.com

1.4. 緊急時の連絡先電話番号

緊急連絡先電話番号 : (703) 527-3887 CHEMTREC(米国以外)

セクション 2: 危険有害性情報

2.1. 物質または混合物の分類

GHS 分類

健康に対する危険有害性 : 皮膚腐食性／刺激性、区分 2
: 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性、区分 1
: 特定標的臓器毒性 - 単回暴露、区分 3、気道刺激性
: 特定標的臓器毒性 - 反復暴露、区分 2

上記以外の有害性は該当なし、またはデータなし。

2.2. ラベル要素

有害性に関する絵表示(GHS-JP) :



注意喚起語(GHS-JP) :

危険

危険有害性情報(GHS-JP) :

皮膚刺激性(H315)
重篤な眼の損傷(H318)
呼吸器への刺激のおそれ(H335)
長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ(H373)

注意書き

[予防策]

: 蒸気、ミスト、スプレーを吸引しないこと(P260)
取扱い後は手、前腕、その他の露出している部位をよく洗うこと
(P264)
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること(P271)
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具を着用すること
(P280)

CF-4721

安全データシート

JIS Z 7253:2012 に準拠

- [対応] : 皮膚に付着した場合:大量の石鹼と水で洗うこと(P302+P352)
吸引した場合は空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること(P304+P340)
眼に入った場合:水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること(P305+P351+P338)
皮膚や眼に付着した場合、飲み込んだ場合や吸引した場合は、直ちに医師に連絡すること(P310)
気分が悪い場合は医師に連絡すること(P312)
特別な処置が必要(このラベルのセクション 4 を参照) (P321)
皮膚に付着し、皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること(P332+P313)
- [保管に関する注意書き] : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと(P403+P233)
施錠して保管すること(P405)
- [廃棄に関する注意書き] : 内容物/容器は現地/地域/国の規則および国際規則に従って廃棄すること(P501)

2.3. その他の危険有害性

既存の眼疾患、皮膚疾患、または呼吸器系疾患がある場合には、暴露によりこれが悪化するおそれがある。混合物の成分の 10%は未確認の急性毒性を持つ物質である。

セクション 3: 組成/成分情報

3.1. 物質

名称	濃度	化学式	官報公示番号		CAS 番号
			CSCL 番号	ISHL 番号	
CF-4721	100				
名称	濃度	化学式	官報公示番号		CAS 番号
			CSCL 番号	ISHL 番号	
水	55~60%	H ₂ O		2-(4)-1220	7732-18-5
メチルビニルシクロシロキサン	5~10%	特記なし			68082-23-5
水酸化ナトリウム(Na(OH))	1%未満	NaOH	(1)-410		1310-73-2
トリメトキシフェニルシラン	5~10%	C ₉ H ₁₄ O ₃ Si	(3)-2635		2996-92-1
ジメトキシメチルフェニルシラン	10~15%	C ₉ H ₁₄ O ₂ Si			3027-21-2
メトキシメチルフェニルビニルシラン	10~15%				80252-60-4
N,N,N-トリメチルメタナミウム水酸化物	1%未満	[(CH ₃) ₄ N] ⁺ OH ⁻	(2)-186		75-59-2
塩酸	1%未満	HCl	(1)-215		7647-01-0

セクション 4: 応急措置

4.1. 応急措置の説明

- 一般的な応急措置 : 意識のない場合は、口から何も与えてはならない。気分が悪い場合は、医師の診察を受ける(可能な場合はラベルを提示する)。
- 吸引の場合の応急措置 : 症状が見られる場合: 屋外に退避し、暴露の疑いのある区域の換気を行う。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪くなった場合、毒物センターまたは医師に連絡する。
- 皮膚接触の場合の応急措置 : 汚染された衣類を脱ぐ。汚染された領域を水で 15 分間以上洗い流す。汚染された衣類を再使用する場合には、洗濯する。皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受ける。
- 眼に入った場合の応急措置 : 水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに毒物センターまたは医師に連絡する。
- 飲み込んだ場合の応急措置 : 口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の診察を受ける。

4.2. 急性と遅延型の両方を含む、最も重要な症状と影響

- 症状/損傷 : 臓器の損傷を引き起こす。
- 吸引の場合の症状/損傷 : 呼吸器への刺激のおそれ。
- 皮膚接触の場合の症状/損傷 : 皮膚刺激を引き起こす。
- 眼に入った場合の症状/損傷 : 眼に対する重篤な損傷を引き起こす。
- 飲み込んだ場合の症状/損傷 : 胃腸の炎症。飲み込んだ場合、吐き気、嘔吐、下痢を引き起こすおそれがある。飲み込むと危険であり、有害な影響を引き起こす可能性が高い。

4.3. 即時の医療措置および特別な治療の適応となる症状

気分が悪い場合は、医師の診察を受ける(可能な場合はラベルを提示する)。

セクション 5: 火災時の措置

5.1. 消火剤

- 適切な消火剤 : 散水、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素。
- 不適切な消火剤 : 強力な放水を使用してはならない。強力な放水の使用により火災が拡大するおそれがある。

5.2. 物質または混合物に由来する特別な危険

- 火災危険性 : 可燃性ではないが、高温では燃焼するおそれがある。
- 爆発危険性 : 本製品は爆発性はない。
- 反応性 : 水や空気中の水分と反応し、メタノールを発生する。

5.3. 消火時の注意事項

- 火災に関する予防措置 : 化学物質による火災の消火は慎重に行うこと。
- 消火時の指示 : 露出した容器の冷却には散水あるいは水の噴霧を使用する。大火災および大量の場合: 退避する。爆発の危険があるので、十分に距離をとった位置から消火を行う。
- 消火時の防護 : 呼吸用保護具を含む適切な防護具を装着していない者は、火災発生エリアには立ち入ってはならない。
- その他の情報 : 温度が 150°C(300°F)を超えると分解し、ホルムアルデヒドの蒸気を発生する。

セクション 6: 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具、および緊急措置

一般的な措置 : 眼、皮膚、および衣服に接触しないようにする。吸引を避ける(蒸気、ミスト、スプレー)

6.1.1. 緊急救援隊以外の人員

防護具 : 適切な個人用保護具(PPE)を使用すること。

緊急措置 : 不必要な人員を退避させる。

6.1.2. 緊急対応にあたる人員

防護具 : 洗浄担当のスタッフには適切な防護具を装着させること。

緊急措置 : 漏出した区域の換気を行う。

6.2. 環境に対する注意事項

下水および公共用水への流入を防止する。

6.3. 封じ込めおよび洗浄の方法と材料

封じ込め : 漏出した物質を防壁または吸収材で封じ込め、移動および下水や河川への流入を防止する。

洗浄方法 : 漏出した物質を迅速に除去し、回収した物質は安全に廃棄する。漏出した物質は機械的な防壁で封じ込めることができる。漏出した物質を廃棄に適した容器に移す。不活性物質を用いて漏出した物質の吸収および/または封じ込めを行い、適切な容器に入れる。可燃性の物質(おがくずまたはセルロース系の物質)で吸収してはならない。漏出の発生時には、監督官庁に通報すること。

6.4. 他のセクションの参照事項

セクション 8「暴露防止および保護措置」を参照のこと。

セクション 7: 取扱いおよび保管

7.1. 安全な取扱いに関する注意事項

加工時の追加的有害危険性 : 高温の有機化合物の蒸気またはミストは、空気と混ざると自然発火しやすくなるという性質があり、発火温度よりも低い温度で発火するおそれがある。発火温度は、蒸気量が増加した場合や蒸気と空気の接触時間が長くなった場合、また気圧の変化により低くなる。高温での加工(特に真空状態)において、発火温度が低下する場合がある。温度が 150°C (300°F)を超えると分解し、ホルムアルデヒドの蒸気を発生する。高温加工における本製品の使用に際しては、定められた安全動作条件が確立され、維持されていることを確認するために、徹底的な評価を行うことが求められる。

安全な取扱いに関する注意事項 : 蒸気、ミスト、スプレーを吸引しないようにすること。屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

衛生対策 : 労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。飲食や喫煙の前には手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹸と水で洗い、作業場を離れる際にも再度洗うこと。本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。取扱い後は手および前腕部をよく洗うこと。

7.2. 安全な保管の条件(混触危険性を含む)

技術的対策 : 適用される規則を遵守すること。

保管条件 : 極端な高温または低温、発火源になるものや直射日光、混触危険物質を避けて保管すること。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉すること。容器は涼しく、乾燥した場所に保管すること。高温加工における本製品の使用に際しては、定められた安全動作条件が確立され、維持されていることを確認するために、徹底的な評価を行うことが求められる。

混触危険物質 : 強酸。強塩基。強力な酸化剤。水。湿気。

7.3. 特定の最終用途

電気部品・電子部品の被覆用。業務用のみ。

セクション 8: 暴露防止／保護措置

8.1. 管理基準

名称	日本の行政基準	暴露限界 (JSOH)	暴露限界 (ACGIH)
水酸化ナトリウム (Na(OH))		2mg/m ³	TWA -, STEL C 2mg/m ³
塩酸		5ppm (7.5mg/m ³)	TWA -, STEL C 2ppm

適切な設備対策 : 暴露の危険性のある区域から迅速に移動できる場所に、緊急用の洗眼器および安全シャワーを設置しなければならない。十分な換気が行われるようにすること(特に狭いエリアにおいて)。国／地域の規則を確実に遵守すること。

呼吸器系の保護 : 換気が不十分な場合や、酸素不足、または暴露レベルが不明な場合は、認証を受けた呼吸用保護具を装着すること。

手の保護 : 耐化学物質性の保護手袋を着用すること。

眼の保護 : 化学物質用のゴーグルまたは保護面。

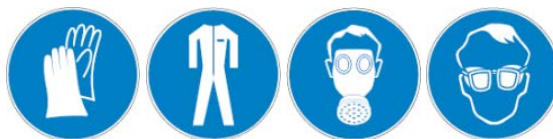
皮膚および身体の保護 : 適切な保護衣を着用すること。

衛生対策 : 労働安全衛生手順に従って取り扱うこと。飲食や喫煙の前には手やその他の露出した部位を刺激性の少ない石鹼と水で洗い、作業場を離れる際にも再度洗うこと。本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。取扱い後は手および前腕部をよく洗うこと。

8.2. 暴露防止

適切な設備対策 : 暴露の危険性のある区域から迅速に移動できる場所に、緊急用の洗眼器および安全シャワーを設置しなければならない。十分な換気が行われるようにすること(特に狭いエリアにおいて)。国／地域の規則を確実に遵守すること。

個人用保護具: : 手袋。保護衣。換気が不十分な場合:呼吸用保護具を着用。防護ゴーグル。



保護衣の素材 : 耐化学物質性の素材および繊維。

手の保護 : 耐化学物質性の保護手袋を着用すること。

眼の保護 : 化学物質用のゴーグルまたは保護面。

皮膚および身体の保護 : 適切な保護衣を着用すること。

CF-4721

安全データシート

JIS Z 7253:2012 に準拠

呼吸器系の保護	: 換気が不十分な場合や、酸素不足、または暴露レベルが不明な場合は、 認証を受けた呼吸用保護具を装着すること。
その他の情報	: 本製品の使用時には飲食または喫煙をしないこと。

セクション 9: 物理的および化学的特性

9.1. 基本的な物理的・化学的特性に関する情報

物理状態	: 液体
外観	: 白色。
色	: データなし
におい	: 軽微。
においの閾値	: データなし
pH	: データなし
相対蒸発速度(酢酸ブチル=1)	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: 135°C 超(275°F 超)
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
燃焼性(固体、気体)	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度(20°C)	: データなし
比重	: 1.09
密度	: データなし
溶解度	: データなし
オクタノール／水分配係数(Log Pow)	: データなし
オクタノール／水分配係数(Log Kow)	: データなし
動粘度	: データなし
動粘性係数	: データなし
爆発特性	: データなし
酸化特性	: データなし
爆発限界	: 該当なし

9.2. その他の情報

追加情報なし

セクション 10: 安定性および反応性

10.1. 反応性

水や空気中の水分と反応し、メタノールを発生する。

10.2. 化学的安定性

標準的温度および圧力下では安定状態。

10.3. 有害反応の可能性

有害な重合は発生しない。

CF-4721

安全データシート

JIS Z 7253:2012 に準拠

10.4. 避けるべき条件

直射日光。極端な高温または低温。混触危険物質。発火源。

10.5. 混触危険物質

強酸。強塩基。強力な酸化剤。水。湿気。

10.6. 危険有害な分解生成物

炭素酸化物(一酸化炭素、二酸化炭素)。ケイ素酸化物。炭化水素。ホルムアルデヒド。温度が 150°C(300°F)を超えると分解し、ホルムアルデヒドの蒸気を発生する。ホルムアルデヒドは発がん性を持つ物質であり、皮膚および呼吸器系に対して感作物質として作用する可能性がある。ホルムアルデヒドはまた呼吸器および眼の炎症を引き起こす可能性がある。

セクション 11: 毒性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

急性毒性 : 未分類

トリメキシフェニルシラン(2996-92-1)	
LD50 経口 ラット	550

ジメキシメチルフェニルシラン(3027-21-2)	
LD50 経口 ラット	892mg/kg

皮膚腐食性/刺激性 : 皮膚刺激を引き起こす

眼に対する重篤な損傷性/刺激性 : 重篤な眼の損傷を引き起こす

呼吸器感作性または皮膚感作性 : 未分類

生殖細胞変異原性 : 未分類

発がん性 : 未分類

生殖毒性 : 未分類

特定標的臓器毒性(単回暴露) : 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性(反復暴露) : 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ。

吸引性呼吸器有害性 : 未分類

セクション 12: 生態学的情報

12.1. 毒性

追加情報なし

12.2. 残留性および分解性

CF-4721	
残留性および分解性	立証されていない。

12.3. 生物蓄積性の可能性

CF-4721	
生物蓄積性の可能性	立証されていない。

12.4. 土壌中の移動性

追加情報なし

12.5. その他の有害な影響

その他の情報 : 環境への放出を避けること。

CF-4721

安全データシート

JIS Z 7253:2012 に準拠

セクション 13: 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物処理方法

- 生態系 - 廃棄物質 : 環境への放出を避けること。
- 推奨される廃棄方法 : 地域/地区/国内/国際規則に従って、内容物/容器を廃棄すること。
- 生態系 - 廃棄物質 : 環境への放出を避けること。

セクション 14: 輸送上の注意

ADR/RID/ADNR/IMDG/ICAO/IATA に準拠

- 国際規制 : 追加情報なし
- 日本における規制 : 追加情報なし
- その他の情報 : 補足情報なし
- 追加情報なし

セクション 15: 適用法令

アジア太平洋地域の規制リスト

水酸化ナトリウム (Na(OH)) - (1310-73-2)

オーストラリア化学物質インベントリー (AICS) に記載
中国現有化学物質名録 (IECSC) に記載
日本の化審法既存および新規化学物質 (ENCS) 一覧に記載
韓国の既存化学物質目録 (ECL) に記載
ニュージーランド化学物質台帳 (NZIoC) に記載
フィリピン化学品および化学物質インベントリー (PICCS) に記載

メチルビニルシクロシロキサン - (68082-23-5)

オーストラリア化学物質インベントリー (AICS) に記載
中国現有化学物質名録 (IECSC) に記載
日本の化審法既存および新規化学物質 (ENCS) 一覧に記載
韓国の既存化学物質目録 (ECL) に記載
ニュージーランド化学物質台帳 (NZIoC) に記載
フィリピン化学品および化学物質インベントリー (PICCS) に記載

N,N,N-トリメチルメタナミウム水酸化物 - (75-59-2)

オーストラリア化学物質インベントリー (AICS) に記載
中国現有化学物質名録 (IECSC) に記載
日本の化審法既存および新規化学物質 (ENCS) 一覧に記載
韓国の既存化学物質目録 (ECL) に記載
ニュージーランド化学物質台帳 (NZIoC) に記載
フィリピン化学品および化学物質インベントリー (PICCS) に記載

塩酸 - (7647-01-0)

オーストラリア化学物質インベントリー (AICS) に記載
中国現有化学物質名録 (IECSC) に記載
日本の化審法既存および新規化学物質 (ENCS) 一覧に記載
韓国の既存化学物質目録 (ECL) に記載
ニュージーランド化学物質台帳 (NZIoC) に記載
フィリピン化学品および化学物質インベントリー (PICCS) に記載

トリメキシフェニルシラン(2996-92-1)

オーストラリア化学物質インベントリー(AICS)に記載
 中国現有化学物質名録(IECSC)に記載
 日本の化審法既存および新規化学物質(ENCS)一覧に記載
 韓国の既存化学物質目録(ECL)に記載
 ニュージーランド化学物質台帳(NZIoC)に記載
 フィリピン化学品および化学物質インベントリー(PICCS)に記載

ジメキシメチルフェニルシラン(3027-21-2)

オーストラリア化学物質インベントリー(AICS)に記載
 中国現有化学物質名録(IECSC)に記載
 日本の化審法既存および新規化学物質(ENCS)一覧に記載
 韓国の既存化学物質目録(ECL)に記載
 ニュージーランド化学物質台帳(NZIoC)に記載
 フィリピン化学品および化学物質インベントリー(PICCS)に記載

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	: 第二種特定化学物質(同法第2条第5項) 優先評価化学物質(同法第2条第5項)
労働安全衛生法	: 危険若しくは健康障害を生ずるおそれのある物質でその名称が通知対象となる物質(同法第57条の2、同法施行令第18条の2、別表第9) 塩化水素(政令第98号)(5%未満) 腐食性液体(労働安全衛生規則第326条)
毒物及び劇物取締法	: 劇物(同法施行規則別表第2) 塩化水素と硫酸とを含有する製剤。ただし、塩化水素と硫酸とを合わせて10%以下を含有するものを除く。(5%未満)
水質汚濁防止法	: 有害物質(同法第2条、同施行規則第2条、排水基準を定める省令第1条) 指定物質(同法第2条第4項、同法施行令第3条の3)
大気汚染防止法	: 排出規制物質(有害物質)(同法第2条第1項の3、同法施行令第1条) 特定物質(同法第17条第1項、同法施行令第10条)
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	: 有害でない物質(同法施行令別表第1の2) 有害液体物質(Y類物質)(同法施行令別表第1) 有害液体物質(Z類物質)(同法施行令別表第1)
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第1の16の項(2)
高圧ガス保安法	: 液化ガス(同法第2条第3項) 毒性ガス(一般高圧ガス保安規則第2条の2)
水道法	: 有害物質(同法第4条第2項)、水質基準(省令第101号(2003年))
労働基準法	: 疾病化学物質(同法第75条第2項、同法施行規則第35条/別表第1の2の4の1/労働省令告示第36号(1978年))

セクション 16: その他の情報

変更の明示	: 2013年08月12日
その他の情報	: 本文書は日本の危険有害性情報の伝達方法の基準であるJIS Z 7253:2012におけるSDS(安全データシート)の要件に準拠して作成された。

SDS 日本 JIS Z 7253:2012

本書に記載の情報は本安全データシートの日付の時点で正確なものであり、誠実さをもって提供されるものである。本文書に記載の情報および意見の使用、また製品の使用条件は、NuSil Technology の管理範囲外であり、製品の安全な使用条件に関する判断の義務は使用者が負うものとする。